

◎保健福祉学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1 教育理念・目的

保健福祉学部では、少子高齢化が急速に進み、保健や医療、福祉を取り巻く環境が大きく変化している時代に、次のような人材を育て社会のニーズに応えることを目的としています。

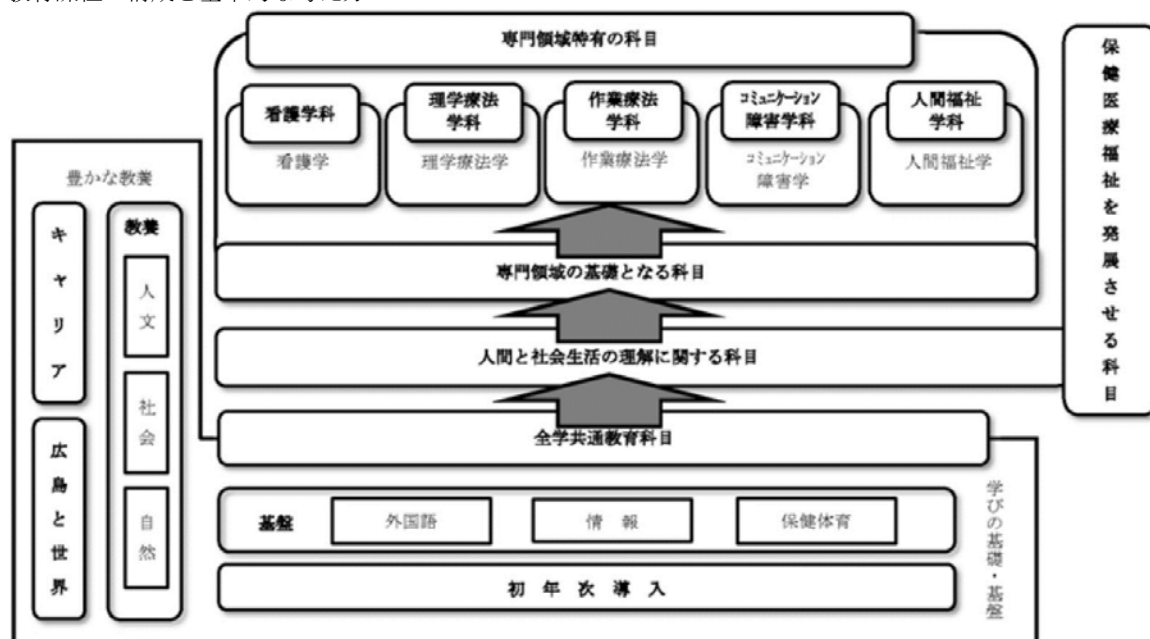
- 1 高度な専門知識を有し、保健・医療・福祉に貢献する人間性豊かな人材
- 2 保健・医療・福祉の総合的実践力を有し、チームアプローチを実践できる人材
- 3 保健・医療・福祉の領域において総合的に教育・研究する基礎的能力を備えた人材

そのため、5学科の連携教育により、専門的な知識や技術のみならず、チームアプローチや地域包括ケアシステムを支えることのできる総合的な実践能力を養う教育を行います。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1 専門教育課程の構成方針

(1) 教育課程の構成と基本的な考え方



保健福祉学部の教育課程は、①全学共通教育科目、②人間と社会生活の理解に関する科目、③保健医療福祉を発展させる科目、④専門領域の基礎となる科目、⑤専門領域特有の科目、の5つの科目群で編成されています。

- (2) 保健医療福祉を発展させる科目では、保健・医療・福祉の仕組みやあり方を学び、5学科共同による演習を通して、社会の中での役割を認識し、保健・医療・福祉の連携を図ることができる資質を養います。
- (3) 実習科目では、実践現場における的確な判断力、主体性、創造性などを養います。保健福祉学部附属診療センターなどの活用により、段階的な実習を取り入れるとともに教育と実践との密接な連携を図ります。
- (4) 卒業研究は全学科必修科目としています。

2 専門教育課程の特色

- (1) 5学科共通の総合演習科目により、役割認識とチームアプローチの修得を目指します。
- (2) 臨床・実践教育に重点を置き、地域・社会での活動を可能とする科目を配置しています。
- (3) 小グループ教育を推進し、自主性と創造性を培います。
- (4) 科学的思考や国際感覚を育むための科目を設定しています。

3 学修成果の評価

学修成果の評価については、適正な学修時間を確保したうえで、コースカタログ・シラバスに配点割合を示した多面的な評価基準により厳正に行います。具体的には、学期中や学期末に行う筆記試験・レポート・実技試験等のほか、授業への能動的な参加度や貢献度を観察したりするなどの方法を用い、総合的に評価します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

県立広島大学のアドミッション・ポリシーのもと、保健福祉学部には、保健・医療・福祉の対象となる人々に専門的立場からチームワークを通して寄与することができる人材の育成が求められています。

保健福祉学部は、高校で学ぶ基本的知識を身につけ、人に対して関心があり生命に対する倫理観を持った、入学後も生涯にわたり学び続けることができる意欲がある、柔軟性と協調性を有する学生を求めます。

◎看護学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

生命への尊厳をもって全人的に援助できる看護の専門性とあらゆる健康状態にある人々のニーズへの対応ができる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度を身につけ、生涯にわたり学修し成長し続ける資質のある学生に卒業を認定し、学士号を授与します。

【知識・技能】

- ・成長発達段階と健康段階、さらに場と状況の特性に応じた看護実践に役立つ知識を身につけている。
- ・生命への尊厳と人類愛に満ちた人間性をもち、倫理的な配慮をしながら確実に看護技術を提供することができる。
- ・保健・医療・福祉の対象となる人々の総合的な理解と全人的な対応力を身につけている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・多様な価値観を受け入れる柔軟性を備え、論理的に思考し、客観的な判断を下すことができる。
- ・自分の意見や考えを表現し、相手の気持ちや意見が傾聴できるコミュニケーション能力を身につけている。

【主体性・協働性】

- ・科学的探究心と創造性、自ら学び生涯にわたって看護職として専門性を発揮しようとする意欲をもっている。
- ・他職種と連携しながら自ら進んで看護の役割を果たすことができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

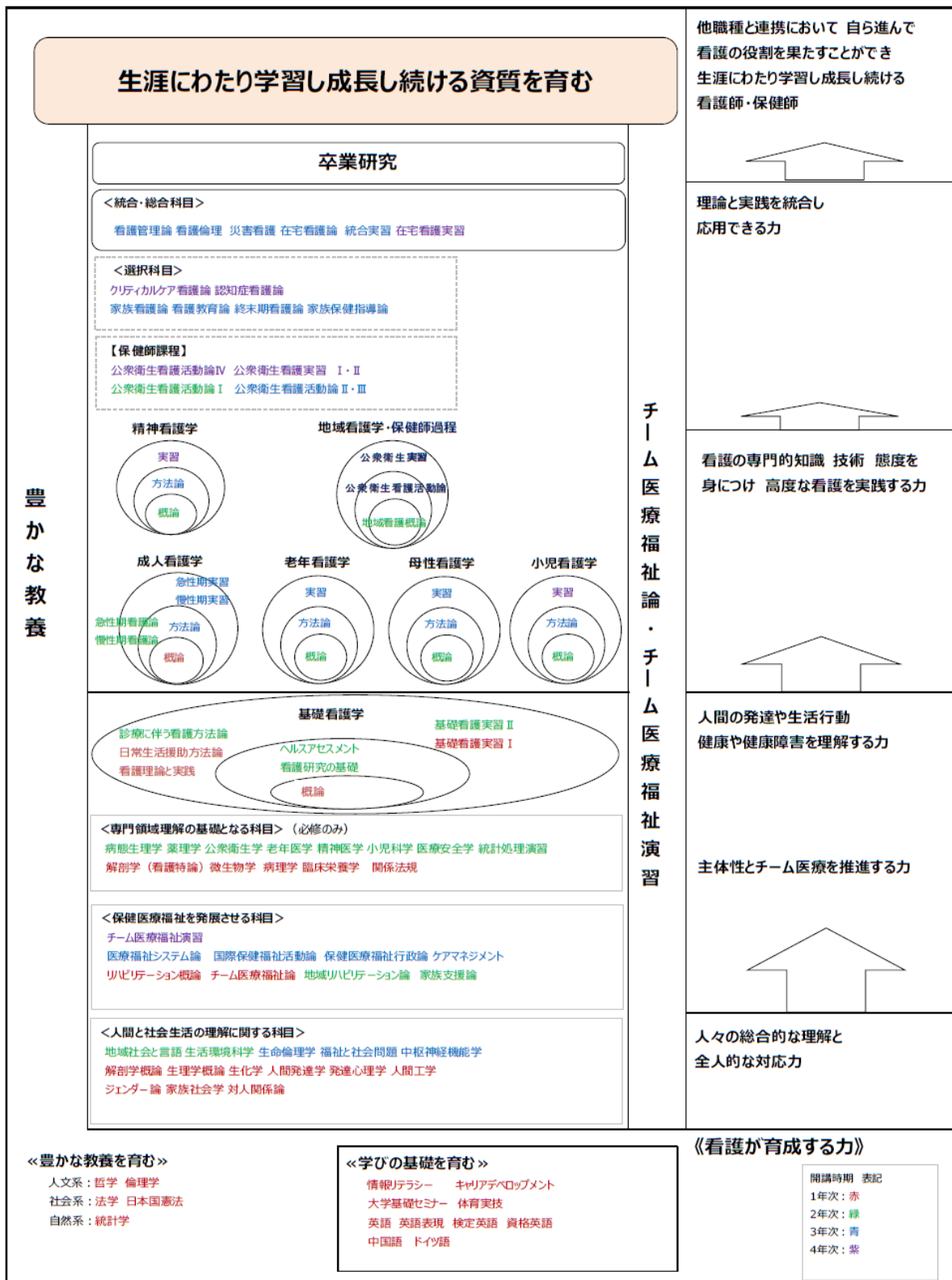
1 専門教育科目の構成

基礎的な学修から段階を追って看護の専門性を深く学修する構成としています。

- (1) 看護を実践するための基礎を幅広く学修する科目
全学共通教育科目、人間と社会生活の理解に関する科目、保健・医療・福祉を発展させる科目、専門領域理解の基礎となる科目
- (2) 看護の専門的知識・技術・態度を身につけ、高度な看護を実践するための学修
専門領域特有の科目（看護師・保健師国家試験受験資格に必要な科目を含む）
- (3) 理論と実践を統合し応用する学修
統合・総合科目、卒業研究

2 専門教育科目の特色

- (1) 学生が自分でテーマを選択し、自分自身から積極的に学ぶ姿勢を身につけるための「大学基礎セミナー」、また、他職種とのチームアプローチのあり方、連携方法を検討し、それぞれの役割をより深く理解するための「チーム医療福祉論」、
「チーム医療福祉演習」を設定しています。
- (2) 看護学の科目は、成長発達段階と健康段階、さらに場と状況の特性に応じた看護専門科目と統合科目で構成しています。
ア 看護の考え方、方法などの基本的学修を各科目の目標に応じて、参加型学修・行動型学修などの能動的な学修を促す手法を用いた授業を実施
イ 人々の成長発達段階と、病院、施設、地域・家庭という看護の場や対象の特性の理解及び健康の保持・増進、回復過程の援助にかかわる理論と方法
ウ 病気や障がいなど人々の特殊な健康状況にかかわる理論と方法
エ 看護の知識を統合し、さらに発展させるための理論と方法
- (3) 臨地実習は、看護学の知識と技術を臨床の場において適用し、理論と実践の統合を図ることを目的としています。
- (4) 評価については知識、能力、態度を多面的に評価しています。



1 基本理念

保健・医療・福祉の対象となる人々に全人的な対応ができ、看護の専門職業人として社会的責任を自覚しながら、高度な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、多様な人々と協働する主体的な態度によって広く貢献する看護師、保健師を育成します。

また、他職種との連携において自ら進んで看護の役割を果たすことができ、生涯にわたり学修し成長し続ける資質を育てます。

2 人材育成目標

生命への尊厳をもって全人的に援助できる看護の専門性とあらゆる健康状態にある人々のニーズに対応できる知識・技能、思考力・判断力・表現力などの能力、多様な人々と協働する主体的な態度によって地域社会で活躍できる人材を育てます。

【知識・技能】

- ・成長発達段階と健康段階、さらに場と状況の特性に応じた看護実践に役立つ知識を身につけることができる。
- ・生命への尊厳と人類愛に満ちた人間性を持ち、倫理的な配慮をしながら確実に看護技術を提供することができる。
- ・保健・医療・福祉の対象となる人々の総合的な理解と全人的な対応力をもつことができる。

【思考力・判断力・表現力】

- ・多様な価値観を受け入れる柔軟性を備え、論理的に思考し、客観的な判断を下すことができる。
- ・自分の意見や考えを表現し、相手の気持ちや意見が傾聴できるコミュニケーション能力を身につけることができる。

【主体性・協働性】

- ・科学的探究心と創造性、自ら学び生涯にわたって看護職として専門性を発揮しようとする意欲をもつことができる。
- ・他職種と連携しながら自ら進んで看護の役割を果たすことができる。

3 求める学生像

- (1) 生命への尊厳をもち人類愛に満ちた人間性豊かな人
- (2) 科学的探究心と自ら学ぶ学修意欲のある創造性豊かな人
- (3) 多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性のある人
- (4) 生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を備えた人
- (5) 地域社会や国際社会への貢献に関心のある人

4 入学者選抜の基本方針

【知識・技能】

- ・高等学校の教育課程における基本的な学力を備えているかどうかを重視します。
- ・生命への尊厳と人類愛に満ちた人間性を持ち、責任ある行動がとれることを求めます。

【思考力・判断力・表現力】

- ・多様な価値観を受け入れる柔軟性と客観的な判断を下せる能力を備えていることを求めます。
- ・自分の意見や考えを表現し、相手の気持ちや意見が傾聴できるコミュニケーション能力を求めます。

【主体性・協働性】

- ・科学的探究心と創造性、自ら学び生涯にわたって学び続けようとする意欲と行動力を求めます。
- ・看護に関わる諸問題に関心を持ち、チーム医療の中で積極的に貢献できる意欲をもつことを求めます。

[一般選抜（前期・後期）]

高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験を課しています。また、個別学力検査については、面接により、保健・医療・福祉を担う人材としての探究心、思考力、表現力、コミュニケーション能力、学修意欲、倫理観などを総合的に判断し、評価します。

[推薦入試]

小論文と面接を行います。小論文では、著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、評価します。面接では、保健・医療・福祉を担う人材としての探究心、思考力、表現力、コミュニケーション能力、学修意欲、倫理観などを総合的に判断し、評価します。

[社会人特別選抜]

小論文と面接を行います。小論文では、著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、評価します。面接では、保健・医療・福祉を担う人材としての探究心、思考力、表現力、コミュニケーション能力、学修意欲、倫理観などを総合的に判断し、評価します。